

2011/04/15(金)11:06

履修コード	112901		
開講年度	2011年度 前期～後期	単位数	4
科目名	演習III	付記	
担当教員氏名（主担当）	小林 正人	カナ氏名（主担当）	コバヤシ マサト
担当教員氏名（副担当）		カナ氏名（副担当）	
講義の到達目標(ねらい)	テーマは「戦後日本の産業発展と景気循環」。 このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。これにより各ゼミ生は、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。 3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が研究したい産業ないし業種について、あるいは特定の経済問題や労働生活問題について、テーマを自発的に決め、歴史と現状、問題点や課題などを卒業論文にまとめます。		
講義の内容／授業スケジュール	「卒業論文の提出までに必要な事前審査」として、（1～2）各ゼミ生による「卒論プラン」の発表、（3～4）参考文献一覧の提出、（5～10）文献研究発表、（11～15）卒論の予定目次と題名の発表、（16～20）卒論の本論の中間発表、（21～25）結論の発表と審査、（26～30）最終稿の総合審査という各段階があります。最終稿の締め切りは11月末のゼミの日です。 上記の事前審査を通った論文は、教務部に提出できます（12月）。さらに卒業論文集（仮称『日本経済学生論集』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒論の最終稿はワープロを使い一定の書式に従って提出します。 詳細について、下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」のサイトの中の「卒論作成プラン」に従うこと。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/		
準備学習			
履修上の留意点	ゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従うこと。		
成績評価の方法	上記の「卒業論文の提出までに必要な事前審査」を通ってきたかどうかを評価します。		
教科書／テキスト			
参考書	高価な文献で、卒論に必要なものがあれば、早めに申し出ること（研究費で購入する）。		
その他	「卒業研究」（4単位、卒業論文のみ）を併設。		
関連リンク			